

忘却 忘れる——なくなる。

傳給 「金錢」を表わした手を額の前に頂く。

帽子 (ハ)中折帽。帽子の山をつまんで被ねる身振。(ウ)学生帽、鳥打帽等。ひさしを持って被むる身振。

帽章 親指と人差指で輪にしたのを、びったりと額の中央につける。

寶石 高価な——光る——石。

放送 五指の指頭を前方にさし掌を下に向けた両手を口もと近くで左右に並らべ、五指をこまかく波打たせながら、両手を前方左右斜めに出して行く(電波を方々へ送る)

忘年会 年——忘れる——会。

方法 掌を下に向けた左手の腕(下膊部)に掌を下に向けた右手を十字に軽く叩いて——考え。

報復 「五分五分」と同じ手まね。

法律 国——いろいろ——規則。

亡霊 「化物」と同じ手まね。

帆かけ船 「舟」の手まねをして、左手をそのままに残しその上に、五指の指頭を上にして、掌を内側に向けた右手を帆の形にして載せる。

朗らか 心——明るい——愉快。

牧師 キリスト——説教——男性。

誇る 「自慢」と同じ手まね。

星 掌を下に向け五指の集め合わせた両手を頭の上で、交互に指を開いては閉じる。空にまたたく星。

捕手 (ハ)「C」を表わす。即ち掌を右側にし、五指の指頭を上にした左手の親指(下に)と他の四指(上に)との間を開いて五指をまるく曲げてCの形をつくる。(ウ)捕手がボールを受ける身振、左手にミットをつけた姿態で、右手拳をボールとして、前方からミ

ットにおさめる動作—男性。

補助 「応援」と同じ要領の手まね。

螢 掌に下向けた右手の左にさした五指の指頭を集め合せては開き、また五指を閉じ（指頭を集め合わせ）開き閉じしながら右の方へ上下さして移動さす。螢が光りを放ち飛ぶ様。

没落 「おちぶれる」と同じ手まね。

仏 仏の手印、即ち掌を上向け五指の指頭を右にさした左手を腹の上につけ、五指の指頭を上さし掌を前向けた右手を右肩の前にかさす。この両手の夫々親指と人差指で輪をつくるもよし。

殆ど 「凡て」と同じ手まね。

焰 「火」と同じ手まね。

骨折り 掌を下に向けて拳にした左手の腕（下膊部）の上を右手掌で叩たく。

ほぼ 「大方」と同じ手まね。

保養 「病氣」の手まねをして掌を内側にした左手を胸につけ、その手甲の上を掌を内側にした右手で愛撫する。

ほら吹く 掌を上に向けて、五指の指頭を左にさした左手の五指を彎曲して螺貝を持った姿態にして口許につけ、その前の位置にこれも掌を上に向けて五指の指頭を右にさした右手の五指を彎曲して並らべてから、貝螺旋形を表わすために、右手の掌をそのままぐるりと下に向ける。両頬をふくらませて口で吹く。

捕虜 降参—兵士

惚れる 掌を上に向けて指頭を前方にさした五指をその指頭が夫々の指の根もとにつくばかり曲げて、その手首のところで顎の下につけてから、下へ落す。顎がはずれること。

亡るぶ 衰えて落すなくなる。

本 合掌した両手を本を開くようにする。